

国内大会の変更点について

1) 2026年全日本選手権大会・自選難度種目の件

- ・前日練習は一般種目と時間を別に設定して行う。
- ・大会当日、自選難度選手のメインアリーナ練習は時間を限定して許可する。
- ・自選難度部門の表記を『強化指定国際競技部門』とする。

その他

- ・規定難度太極拳のホイッスルは行わない。

2) 2027年全日本選手権大会における長拳・南拳種目の套路構成ルールに関する件

長拳・南拳種目（※各器械を含む）が自選套路になるのに合わせ、2005年国際武術套路規則・第4章自選套路内容の関連規定に基づき、また日本国内での状況等を考慮して以下の内容を変更加える。

- ・必選動作について

1. 長拳：変更なし
2. 剣術：「掛剣～背後穿掛剣があること」を除く
3. 刀術：変更なし
4. 槍術：連続3回の完全な攔拿扎槍があること
→攔拿扎槍を連続して行うことによる変更
5. 棍術：両手で行う連続3回の完全な提撩花棍があること
→両手で行う提撩花棍を連続して行うことによる変更
6. 南拳・南棍・南刀：変更なし

- ・跳躍動作制限について

1. 長拳：3種以上6種以内
2. 刀術・棍術：2種以上6種以内
3. 剣術・槍術：5種以内
4. 南拳：1種以上5種以内 ※盤腿（パンタイ）を含む
5. 南棍・南刀：5種以内

※重複する跳躍は不可（連接動作が異なる場合は可とする。減点はなし）

- ・套路構成について、套路減点はない

その他、ルール・問題点について、その都度審判委員会と競技委員会で協議を行う。